

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 17日

（報告先）  
横浜市長

住所 横浜市中区太田町3丁目33番地

氏名 平和交通株式会社  
（代表取締役 新井 忠男）

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	平和交通株式会社 代表取締役 新井 忠男					
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県横浜市中区太田町3丁目33番地					
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業				
	中分類	43 道路旅客運送業				
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	466	台

## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

[基本方針] 1. アイドリングストップ車への順次代替 2. 低公害車への代替の検討（ハイブリット） 3. エコドライブの推進 （1）月一回の運転者向けのエコドライブの講習会実施 （2）車両別保持表の作成 4. 待機所でのアイドリングストップの徹底を再度行う。
--



細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	削減率		%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	9,464	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	9,464	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	8,669	t-CO <sub>2</sub>	削減率	8.4 %	削減率		%	
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	平成30年度までに110台の代替を予定している。アイドリングストップ車導入による燃費の向上は14%と考えるため、上記目標排出量となる。								
事業者全体としての 目標等	アイドリングストップ車への順次代替								
第一年度 (2016年度)	排出量	8,760	t-CO <sub>2</sub>	削減率	7.4 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	8,760	t-CO <sub>2</sub>	削減率	7.4 %		削減率		%
目標等の達成状況 及び説明	当該年度のアイドリングストップ車への代替は82台。走行キロ、燃費は前年度に比べ若干の減少で、排出量を改善することができました。								
第二年度 (2017年度)	排出量	8,044	t-CO <sub>2</sub>	削減率	15.0 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	8,044	t-CO <sub>2</sub>	削減率	15.0 %		削減率		%
目標等の達成状況 及び説明	当該年度のアイドリングストップ車への代替は36台。休車が34台。走行キロ、燃費は前年度に比べ若干の減少で、排出量を改善することができました。								
第三年度 (2018年度)	排出量	6,884	t-CO <sub>2</sub>	削減率	27.3 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	6,884	t-CO <sub>2</sub>	削減率	27.3 %		削減率		%
目標等の達成状況 及び説明	当該年度のアイドリングストップ車への代替は、35台。抹消が12台、休車22台。走行キロ、燃費は、前年度に比べ減少し、排出量は改善しました。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	計画期間において、順次代替でアイドリングストップ車への増加が128台。休車+抹消の台数が34台。これにより走行キロ、及び燃費は減少し、排出量の変動要因となりました。								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車	476	8,684	476	8,285	478	7,822	466	6,696
合計	476	8,684	476	8,285	478	7,822	466	6,696
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	0.0	%	0.0	%	0.0	%	0.0	%





細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1					
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	1. 産業廃棄物の適正処理、資源化を計るべく分別の努力をしています。
計画期間内に実施する対策	1. 従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策
第一年度実績	従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導の結果、各営業所平均7%達成
第二年度実績	従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導の結果、各営業所平均7%達成
第三年度実績	従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導の結果、各営業所平均7%達成

14 実施状況等に対する自己評価

平成30年度は、アトリングストップ車への代替数35台。導入台数は421台となった。また、休車台数22台、抹消台数12台。これにより、走行距離、使用燃料ともに減少し、CO2の排出量は改善している。
---